



ばるっこ

学校教育目標

～豊かな感性、確かな学力を身に付け、
たくましく未来を拓く子どもの育成～

中原小 めざす3つの「あ」

あいさつ **あ**りがとう **あ**きらめない

北九州市立中原小学校 校長 針尾 泰久

ココロつなぐ セリン交流会～地域の方と楽しもう～（3年生）



2月27日（木）に3年生の子どもたちは、社会科の学習の発展で七輪体験をしました。ゲストは、中原小地域の敬老会の皆様、19名です。10グループに分かれ、それぞれのグループに地域の方がご指導・ご支援に入ってくださいました。子どもたちは普段七輪を使う機会はありませんが、地域の方々のご指導・ご支援によって無事に炭に火を起こすことができました。火起こしの後は、焼き立てのかきもちをほおばりながら、地域の方に昔の話、例えば、「昔はどんな遊びをしていたのですか」「昔はうちわはありましたか」「昔はテレビとかありましたか」「昔は扇風機とかエアコンとかありましたか」など具体的なことをお尋ねしていました。地域の方から「昔は縄跳びをして遊んでいたよ」「昔は扇風機やエアコンはなかったよ」などの話を聞いて子どもたちは大変驚いていました。今の子どもたちにとって、周りにあるものはすべて当たり前の世界になっていますので、驚きは大きかったようです。中原小地域の敬老会の皆様、お忙しい中、お寒い中、子どもたちのために、ありがとうございました。今後も、よろしくお願いいたします。

できるようになったことが、次のステップへのやる気向上へ（2年生）

2月に行われました学習参観で、2年生の子どもたちは「できるようになったこと発表会」をしました。練習もしっかりと取り組みました。子どもたちは、がんばり続けた結果、本番では温かい拍手をもらい、また家庭に帰ってからもおうちの方から誉められたことが、次のステップへの意識向上につながったようです。右は、子どもたちの振り返りの一部です。

ぼくは九九をしました。
なぜ、せいちょうできるようになったかというと、たくさんれんしゅうをしたことや、先生やまわりの人のおかげでできるようになりました。ありがとうございました。3年生になってもいろいろくしゅうをがんばります。

ぼくはマットグループでれんしゅうしました。できなかったそくてんやうしろまわりやかえるの足うちができてうれしかったです。あとれんしゅうであきらめなかったからできたとおもいました。3年生になったら、理科をがんばりたいです。